



厚生労働省
社会保障審議会推薦

文部科学省選定
(少年、青年、成人、家庭向き)

UDCast対応
バリアフリー字幕・音声ガイド

生まれてきてくれて、ありがとう

帆花

ほのか

監督・撮影：國友勇吾 撮影：田崎絵美 編集：秦岳志

整音：川上拓也 音楽：haruka nakamura

プロデューサー：島田隆一 製作：JyaJya Films+roa film

配給：JyaJya Films 配給協力・宣伝：Regard

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（映画創造活動支援事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

生
き
て
い
る
と
い
う
こ
と。
そ
れ
は

我が子の成長を喜び、
愛しむ両親の姿とその日々の営みをつめ、
いのちにふれるドキュメンタリー

生後すぐに「脳死に近い状態」と宣告された帆花ちゃん。母親の理佐さん、父親の秀勝さんと過ごす家族の時間にカメラは寄り添う。常に見守りが必要な帆花ちゃんとの生活は誰にでもできることではない。でも、理佐さんと秀勝さんの2人にとってはあたりまえで、普通のこと。いろんな場所に出かけていき、絵本を読み聞かせ、お風呂に入れ、吸引をする……ありふれた日常の中で積み重なり、育まれていくもの。動かなくても、言葉を発しなくても、ふれあうことで通じあい、満ちていくもの。帆花ちゃんを愛しむ両親の姿から伝わる、我が子と一緒にいられる幸せ。

そんな家族のかけがえのない日々、生きる喜びと生命の営みを見出したのは、今作が初監督作品となる國友勇吾。3歳だった帆花ちゃんが小学校に入学するまでの間、家族のすぐそばで、言葉にならずとも、カメラに映らずとも、ひとが生きていく上で大切なものを丁寧にみつめ続けた。プロデューサーに『春を告げる町』の監督でもある島田隆一を迎え、編集を『ニッポン国 VS 泉南石綿村』『東京クルド』などの秦岳志、整音を『台湾萬歳』『オキナワ サントス』などの川上拓也が手掛けるなど、現代ドキュメンタリーの精鋭陣がスタッフとして参加している。

帆花ちゃんの手のかささとぬくもりに、生を実感して心が震えたという國友監督が紡ぎ出す、いま、この社会に私たちとともに在る「いのち」の物語。



業務用DVD販売中



「帆花」/ CHOR-001

2021年|日本|本編72分|カラー|16:9 ビスタ|ステレオ
UDCast対応/バリアフリー字幕・音声ガイド

館内上映+個人貸出+個人視聴：15,000円(税抜)

上記許諾に加え、団体貸出権付き：45,000円(税抜)



●お申し込み・お問い合わせは

(映) 有限会社 博映商事

【飲酒運転撲滅宣言企業】

TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】<http://hakuei-shoji.jp>

【E-Mail】info@hakuei-shoji.jp

